

令和 2 年 12 月 25 日  
障発 1225 第 3 号

都道府県知事  
各 指定都市市長 殿  
中核市市長

厚生労働省障害保健福祉部長  
(公 印 省 略)

押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の  
一部を改正する省令の施行について

押印を求める手続の見直し等のための厚生労働省関係省令の一部を改正する省令(令和 2 年厚生労働省令第 208 号)が本日公布・施行されました。

このうち、当部所管省令の改正の内容は下記のとおりですので、御了知の上、管内市町村(特別区含む。)を始め、関係者、関係団体等に対し、その周知徹底を図るとともに、適切に対応方御配慮いただきますようお願いいたします。

記

1. 次に掲げる省令において、国民等に対して押印を求めている手続について、国民等の押印等を不要とする改正を行う。
  - ・ 身体障害者福祉法施行規則(昭和 25 年厚生省令第 15 号)
  - ・ 特別児童扶養手当等の支給に関する法律施行規則(昭和 39 年厚生省令第 38 号)
  - ・ 障害児福祉手当及び特別障害者手当の支給に関する省令(昭和 50 年厚生省令第 34 号)
  - ・ 精神保健福祉士法施行規則(平成 10 年厚生省令第 11 号)
  - ・ 性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律第三条第二項に規定する医師の診断書の記載事項を定める省令(平成 16 年厚生労働省令第 99 号)
2. 改正前の様式(以下「旧様式」という。)により使用されている書類は当該改正後の様式によるものとみなすものとする。

また、旧様式による用紙については、合理的に必要と認められる範囲内で、当分の間、例えば、手書きによる訂正等により、これを取り繕って使用することができるものとする。